



「日本一の県立美術館に！」

とっとり県美応援団 団長 佐伯健二

「敷地内の草取りでもいい。何か役立ちたい」。

長年凍結になっていた県立美術館が動き出し、建設場所が決まった時の感激と決意は、今も忘れてはいません。建設場所は、鳥取県で一番人口が少ない中部地区。地方創生の今の時代、小さな鳥取県が全国の中で気を吐いているように、ここはまず地元住民が真っ先に立ち上がる時だと思ったのです。

あれから5年。待望の県立美術館は2025（令和7）年春オープンに向け、倉吉の地で力強く建設のツチ音を響かせています。

全国的には後発ですが、私たちは日本一の県立美術館になることを願って応援活動を続けています。

来館者の案内や館内清掃、広報誌の発送作業など、できる人が、できる時に、できる事をやって、たくさんの笑顔でにぎわう県立美術館にしましょう。



令和4年度 最近の主な活動をご紹介します

2022年4月17日 会員総会・講演会・チーム研修会
講演「県立美術館の運営と地域連携」



美術館パートナーズ統括マネージャーの赤尾靖枝氏をお迎えし、県立美術館開館後の取組である県内小学4年生向けの「対話型鑑賞活動」や他施設での運営事例と地域連携を学びました。

2022年6月18日 みんなで進もう!!
「対話型鑑賞」ファシリテーターへの道
(来館者対応チーム研修会)

対話型鑑賞のファシリテーターとなるためにその役割、活動の作り方、鑑賞活動模擬体験の研修を行いました。鑑賞活動を体験した子ども達が「美術館にもう一度来たい!」と思ってくれる出会いの場にしたい、といった参加者の思いが感じられました。

2022年5月29日
「美術館とは何か」連続セミナー第1回
講師 尾崎 信一郎氏（美術館整備局 美術振興監）

基本的な問題に焦点を絞り、美術館の成立と展開、コレクションや展覧会、そして今日直面する課題などについて学芸的な立場から3回にわたって開催。第1回目として「美術館の機能（コレクション・展示・調査研究・教育普及）」や「美術館のタイプ（コレクション型と展覧会型）」の解説に加え、鳥取県立美術館常設展の展示計画や核になる作品などを紹介いただきました。

2022年6月22日 講演会&座談会（環境チーム）
「大御堂廃寺とこの地域の学びを深めるために」
講師 根鈴智津子氏

大御堂廃寺について、また美術館の開館に合わせての整備計画の内容について座談会での質疑応答も含めて理解を深め、今の地域からは想像できない当時の状況がリアルに浮かび上がりました。参加者からは倉吉に長く住んでいるが初めて学んだことが多かった、ひとつの遺跡でたくさんの歴史を推測できることを知った等の感想がありました。

「玉ねぎの皮で染めちゃおう！食品で染色体験」に多くの会員がボランティアで参加

6月25～26日 倉吉市の大御堂廃寺跡「中部発！食のみやこフェスティバル」

鳥取県立博物館・美術館整備局のコラボ企画玉ねぎの皮による染色体験コーナーに当応援団の多くの会員がボランティアで参加、講師の古澤順子先生のご指導にて、家族連れなど連日150人を超える参加者に楽しく和やかに体験していただきました。

鮮やかな黄色に染まったハンカチに、輪ゴムで絞って出来た様々な絞り模様が浮かび上がり、どれもが青空に映えてとてもきれいでした。

